PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター（JICA 関西）
2025 年 10 月 21 日

JICA 留学生が奈良県十津川村で
「自然と共生する観光・村づくり」を学び、ヨガイベントも開催！

＝SDGs 未来都市で地域課題と向き合う＝

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は、2025 年 10 月 22 日（水）から 24 日（金）にかけて、SDGs 未来都市に選定された奈良県十津川村において、JICA 留学生 11 名（10 か国）を対象とした地域理解プログラム「奈良県十津川村から学ぶ自然と共生する観光、村づくり」を実施します。

本プログラムは、JICA 留学生が関西圏の歴史・文化・地域社会への理解を深め、将来的に母国の発展に貢献することを目的とした「地域理解プログラム」の一環として、2022 年度から継続的に実施しているものです。十津川村役場や地域おこし協力隊、その経験者を含む村内関係者の協力を得て 2025 年度も開催します。

2025 年度は、「自然と共生する観光」をテーマに、林業、移住・定住、過疎、高齢化、防災など、地域が抱える多様な課題を多角的に学びます。村役場が掲げる「林業・観光業を中心に自立する村」「知恵や技術、文化が継承される村」「自然と共生する暮らし」といったビジョンに触れながら、JICA 留学生は村民との交流を通じて共感や新たなアイデアを得ることが期待されています。

例年、JICA 留学生が十津川村の課題、その解決策について村役場や村内関係者に対して発表し、意見交換を実施しています。今年度も最終日の 10 月 24 日に意見交換を実施するだけではなく、2024 年度のプログラムに参加したネパール人留学生（立命館大学）が提案し自身が講師も務める「自然と調和した健康増進のヨガイベント」を村役場と協働で実施予定です。

＊ JICA留学生：開発途上国からJICAの人材育成プログラムで来日し、日本の大学（修士課程あるいは博士課程）で学ぶ留学生で、自国の行政官、研究者、民間企業出身者などバックグランドは様々ですが、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。

【取材について】日本語ー英語の通訳が対応します。取材をご希望の場合、希望日前日までに下記の問い合わせ先までご連絡ください。詳細な開催場所をお伝えいたします。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 国際協力推進員（奈良県担当） 福西真実 TEL: 080-8506-3718 e-mail: jicadpd-desk-naraken@jica.go.jp

※日程表やJICA留学生の出身国は、2枚目をご覧ください。

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター(JICA 関西)
2025 年 10 月 21 日

＜「奈良県十津川村から学ぶ自然と共生する観光・村づくり」　基本情報＞

実施場所：　奈良県十津川村内
参加予定者：JICA 留学生 11 名（10 か国）
（出身国：ウズベキスタン、エチオピア、ガーナ、キルギス、ドミニカ共和国、ナイジェリア、ネパール、東ティモール、ベトナム、ミャンマー）
日程：
10 月 22 日（水）

時間	内容
11:30～12:15	・谷瀬の吊り橋見学
13:30～14:15	・移住体験施設「こやすば」にて役場職員と移住者から講話
15:00～16:00	・十津川村出身（U ターン）で放牧の養鶏場を営む澤渡様の十津川郷神納川ファームの視察
17:00～17:45	・村役場企画観光課から観光、移住、定住について、農林課から林業と防災の関係について講義

10 月 23 日（木）

時間	内容
09:00～10:30	・果無集落の熊野古道小辺路から柳本橋対岸まで歩く
11:30～12:45	・瀞峡見学(2011 年 8-9 月の紀伊半島大水害の爪痕等を知る)
14:00～17:00	・空中の村代表ジョラン・フェレリ氏の講義および施設見学

10 月 24 日（金）

時間	内容
10:00～11:40	・昴広場でネパール留学生 Vijay 氏によるヨガ企画
12:10～15:00	・十津川村役場とのディスカッション

・悪天候が予想される場合はプログラム全体が中止になる可能性があるほか、プログラム実施中に悪天候によって、各イベント内容を変更する可能性があります。
・移動の都合により、各行程の時間は多少前後する可能性があります。
・取材のための交通手段はご自身で手配をお願いします。